

シネマズライフ

2018年6月1日発行 第145号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『海を駆ける』

主演のティーン・フジオカなら

『海を駆けてみせる』って感じ! (笑)

Wikipediaを参考にさせていただきました。m.l.m

【最近のこれはまずいぞ!】

『アイデンティティー』 題名は普通だが、ネット画像が怖いがな!

映画の風景 日本の風景

※ 滋賀県・多賀サービスエリア（上り線） ※



多賀サービスエリアには、ドックラ
ンが整備されており、犬にも癒しの場
所があるそうだ。そこでは犬も自由に
散歩できるという。
映画では飼い主の命令に従うドーベ
ルマンが重要な鍵になっていく。一方、
人間もまるで飼い犬が飼い主の命令に
従うように行動する人も多い。
混沌とした今の時代。自分で事の良
しあしを考えて行動する事が大切な時
代ではないかと思うのだ。

『ブラジルから来た少年』という映
画があった。こんな映画だ。
南米・パラグアイ。ナチスの残党の
集舎を1人の青年が盗聴、リーダーは
アウシュビッツの主任医師・メンゲ
レ博士。盗聴で青年は恐ろしい計画を
知り『ナチス・ハンター』で有名なリー
パーマンに連絡中に殺される。
内容は「約65歳の公務員などを94人
暗殺する」というもの。
そこで、リーパーマンは「60代男の
不審死」を連絡してくれとマスコミ間
の友人に頼むと、驚く事に世界各国
で「60代男の不審死」が起きていて、
その男達には若い妻と15才ぐらいの男
の子がおり（黒髪で色白・青い
瞳）で（利口だけと息け者）
という性格もよく似ていた。
（年齢差が離れている夫
婦の子供で母親に溺愛さ
れている...）
これは、まさにアドリ
フ・ヒットラーの子供時
代の環境とそっくりだっ
た。それを知ったリーパー
マンは驚愕する。メンゲ
レ博士は人間のクローン
に成功していたのか？
リーパーマンはそれを阻
止すべく、同じ環境の一家が
いるアメリカに赴くがその家に
メンゲレが訪れていた...

『ブラジルから来た少年』1978年 アメリカ 監督：フランクリン・J・シャフナー 原作：アイラ・レヴィン
出演：グレゴリー・ペック ローレンス・オリヴィエ ジェームズ・メイソリ リリー・パーマー スティーヴ・グッテンバーグ

この映画には『0のラストシーン』があり、『クローン人間』についてきびしい問題提起をしている。今、現実味を帯びている【クローン人間】人類はもっと深く考える時がきている。

コラム
人に知ってほしいのか
知ってほしくないのか？
と思う件
中編

世界中で「読めない文字」で
書かれた本・文書が多い事に
驚く。その筆頭が、前編で紹
介した『ヴォイニッチ手稿』でい
ろいろな説があるが面白いの
は、作者ではないかと言われ
ている一人、錬金術師エドワー
ド・ケリーが友人をからかう
為に書いたという話で、これ
こそ究極の「偽書」だろう。

他にも「結繩（けつじょう）
（インカ帝国）」「契丹文字（モ
ンゴル）」「ロンゴロンゴ（ヘイス
ター島）」などがあるが、しか
しこれらの文字は「読めない」
訳ではなく、読み人がいなく
なったという事なのだ。

ヴォイニッチ手稿
「花のような絵が書かれているページ」



!契丹文字

近年では、**西洋の芸術**
の伝統的な訓練を受けてい
ない人が制作した作品をい
「アウトサイダー・アート」と
して存在するが、その代表格
が「ヘンリー・ダーガー」の『非現
実の王国』（非現実の王国と
して知られる地における、ヴィ
ヴィアン・ガールズの物語、子
供奴隷の反乱に起因するグ
ランデコ・アンジェリアン戦争
の嵐の物語）で、引きこもり
に近い生活を送っていたダー
ガーが、19才から施設に入る
まで書き続けた『少女達の物
語』だ。81才で亡くなつて「発
見」された時、1万5千ページ
以上の趣味に徹した膨大な
『少女達の物語』に驚いたと言
う。
以下次号

☆【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介しします!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。(m_c)m

『アーサーとミニモイの不思議な国』

WOWOW

2006年 フランス

監督 製作 原作 脚本:リュック・ベッソン 脚本:セリーヌ・ガルシア
出演:フレディ・ハイモア ミア・ファロー ベニー・バル マドンナ
アダム・ルフェーヴル セルジュ・ブルメンタル

6月7日(木) 8:00
7月23日(月) 23:00

【ライブ】
【シネマ】

両親と離れておばあちゃんと暮らしているアーサーは10歳の誕生日を迎えたばかり。おばあちゃんの家では4年前にいなくなったおじいちゃんが残した本を読む事が楽しかった。ある日、おばあちゃんの家が借金のため出ていかなくてはならなくなるが、おじいちゃんがアフリカから持って帰ったという《ルビー》があればいいのだが見つからない。ところが、屋根裏にあった地図から《ルビー》は地下に住むミニモイ族の国にあり、その国におじいちゃんもいる事が分かった。そこでアーサーはミニモイの国に行く事を決心。満月の夜、小さくなったアーサーはミニモイ族の王女セレニアと王女の弟ベタメッシュに遭遇。ところが、今、ミニモイの国は悪魔マルタザールに狙われており、その戦いでアーサーは大活躍し、国王から国を守ってくれと頼まれる。

リュック・ベッソン監督が書いたファンタジーが原作。リュック・ベッソンワールド満載です。

『ウルヴァリン: SAMURAI』

スターチャンネル

2013年 アメリカ

監督 脚本:ジェームズ・マンゴールド
出演:ヒュー・ジャックマン 真田広之 TAO 福島リラ
ハル・ヤマノウチ 角田信朗

6月2日(土)6:00
6月4日(月)17:00(吹)
6月8日(金)16:30 ⇒ 6月9日(土) 2:30
6月12日(火)23:00(吹)

【チャンネル1】
【チャンネル3】
【チャンネル1】
【チャンネル3】

並外れた治療能力を持つミュータントのローガンは過去のトラウマからカナダの山奥に籠っていた。ある日、終戦前・長崎で原爆に遭遇した時に助けた矢志田から日本への招待を受け、日本へ向かう。ところが、矢志田は病床に臥(ふ)しており、助けてくれたお礼にとある事を告げ亡くなってしまった。葬儀の日、矢志田の孫娘・マリコの命が狙われ、ローガンが壮絶な戦いを繰り広げ長崎まで逃れる。ところが、ローガンの体に異変が起こる。治療能力が消えていたのだ。しかし、マリコを助ける為に戦わなければならないローガンにとってそれは【死】を意味していた。

人気シリーズ『X-メン』のスピノフ作品の2作目。瀕死のヒュー・ジャックマンですが、やっぱりカッコいいです。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしくお楽しみください。よろしくお楽しみください。よろしくお楽しみください。

2017年日本
監督 脚本:秋上真志

『彼らが本気で編むときは、』

出演:生田斗真 桐谷健太
橋本環奈 門脇麦 りりィ
江口のりこ 田中美佐子

★次回発行は6月15日です。発行予定は第1・3金曜日です。

小学生のトモは母・ヒロミと二人暮らしだったが、恋人ができない母が、また家に帰らなくなると。そんな時はトモはヒロミの弟・マキオの家で暮らして、今度もマキオの家で暮らす事にしよう。しかし、今回は違うと違っていた。マキオには一緒に暮らしている恋人がいたのだ。名前はリンゴ。実は元・男性でトランスジェンダーだった。最初は驚くトモだったが、お弁当はキヤラ弁当。家事全般も人並み以上で、徐々に女性より女らしくリンゴに魅かれていく。

また、マキオからリンゴとのなりそめを聞き、リンゴの存在がそんなに不思議な存在で無くなってきた。それからトモはマキオ・リンゴと楽しい日々を送る。一方、マキオとリンゴはトモを養子として育てたいと思いはじめた。ある日、トモと友達のカイがリンゴと一緒にいるのをカイの母・ナオミが目撃。ナオミが児童相談所に通報し、所員が三人が住む家を訪問し詰問される。三人は自分達を取り巻く現実を愕然とする。自分にとらて『自然体』であろうとすると、社会から疎外されてしまうという矛盾を、考えさせられる映画だ。しかし、疎外される方からは、理解できない人を受け入れるのは難しく、強く拒絶するのかわかる。それではどうすればいいか? 私はお互いを認める『寛容』という言葉の思い出すのだが、どうだろう。現代人には難しいの事なのだろうか?



Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ145号
発行人:貴樹諒音
発行日:2018年6月1日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



【編集後記】
☆いよいよ6月に入り、梅雨前の気候となつていて気持ちがいい。今年の春も短かそうだが、しかし、世界情勢もどわどわと政治情勢もどわどわと。特になんか日本がずっといい感じの梅雨の季節に、せめて日本が梅雨の季節に、きりきりしてほしいです。

シネマズライフ—cinemaz-life— 1 4 5 号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材-フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》

『ウルヴァリン：SAMURAI』

《WOWOW》

『アーサーとミニモイの不思議な国』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/>

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト